**僕の絵・自分の世界３８**

**さあ十月の心が宿る**

**自分の世界が神になる**

**みちお・画**

**記憶が探している**

**自分の世界があの頃の記憶を捜している**

**記憶・いつかは**

**美しき朝**

**美しく思える朝の光**

**巡り合ったのは、出会ったのはいつ**

**今は僕の心は春風**

**歩く　歩く**

**歩くと心が弾む**

**心の虹が口笛を吹く**

**あなたに逢えてよかった**

**花　花　花**

**いつの間にか　花、白いはな**

**いつの間にか　蕾　黄色いつぼみ**

**鳥　鳥　鳥**

**いつの間にか　啼いている**

**いつの間にか　飛び去っている**

**風　風　風**

**いつの間にか　竹笹をとめた**

**いつの間にか　雲がない**

**光が流れていく**

**光　光　光**

**朝の光がかわる**

**時は遷る**

**西日が明日に向かっている**

**夕暮れが悲しみを連れてくる**

**会いたかった人がいる**

**「亡くなったみたいだよ」**

**逝ってしまった**

**なんで訊ねなかったのだろう**

**電話がいつもと違う発信だったのに**

**なぜいかなかったのか**

**問う　責める　泣く**

**何時かは**

**いつかは・・・**

**電話する**

**ねえ　元気ですか？**

**自分の世界に戻って明日を考えている**

**できることをすればいい**

**みちお・画**

**夕日より朝陽がいい**

**そう思う時は自分の世界が前向きに走る**

**でもここのところ　夕日も朝日も昇らない**

**祈ってもだれも答えてくれない**

**自分の世界に閉じこもって　青空を捜す**

**自分でも気づかないうちに　自分が変わっていく**

**みちお・画**

**少し明るくなったでしょう**

**色が薄く明るくなったでしょう**

**愛から無関心に変わることは
難しい
愛から憎しみに変わることは
容易い　　　　　　　　　　　　　紘子**

**みちお・画**

**似ている、が自分の世界におなじ世界はない**

**明るさが違う、柔らかさが違う**

**みちお・画**

**昼と夜の温度差が15度もある**

**昨日と今日の温度差が10度もある**

**自分の世界が赤と青に変わる**

**寒い　暑い　温度差アレルギーが　自律神経が失調してしまう**

**夏はそこにない**

**冬なのか　そこに見えない**

**またも、神に祈る　神無月に　出雲に行こうか**

**みちお・画**

**自分の世界は不思議な世界である**

**詩の世界だ**

**詩とはくだらない世界だという　谷川俊太郎は好きだけれど**

**ぱさぱさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて**

**気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか**

**苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし**

**初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが　ひよわな志しにすぎなかった　茨木のり子**

**自分の世界がいい色になった**

**みちお・画**

**このままできることをして生きよう**

**小さき自分の世界を見つめてみちお・画**

**十月が終わろうとしている**

**自分の世界が、バランスが良くなってきた**

**Sceneryを入れ春の花もいれ、心を明るくする**

**覚満淵の夕日に立ちて富士を眺める**

**自分の世界が明るくなって自信につながっていく**

**みちお・画**

**冬を楽しみにしているような余裕の色**

**自分の世界は　生きている限り　時と一緒に行く**

**みちお・画**

**平成二十九年十月詩日**

**みちお（七十四歳）**